

おやま 市議会だより



第248号

●主な内容

第6次小山市総合計画基本構想案を可決

議案とその内容……………②	市政一般質問……………④～⑨
請願・陳情……………②～③	議会日誌……………⑨
意見書……………③	行政視察報告……………⑩
常任委員会報告……………③～④	

平成23年2月15日号



厳冬の思川（市役所より）

小山市議会

編集 議会広報委員会

12月

定例会のあらまし

平成22年11月29日～12月24日

主な議決議案

平成22年第4回（12月）定例会は、11月29日～12月24日までの26日間の会期で開かれました。本定例会では、第6次小山市総合計画基本構想をはじめ、平成22年度一般会計補正予算案、条例の制定などについて審議しました。

11月29日、市長から市政一般および近況について報告があり、続いて議案21件、報告2件を上程。提案理由の説明を受けた後、議案1件、人事案件1件を即決しました。

12月6日～8日は、16人の議員が登壇し、市政に対し一般質問を行ないました。

8日は上程議案に対する質疑の後、各常任委員会への付託を行い、これを受けて、13日～16日に各常任委員会が開かれ、議案、陳情について審査を行いました。

24日には、各常任委員長報告があり、審議の結果、議案20件を可決、陳情1件を一部採択、1件を不採択と決し、さらに議案1件、意見書案1件、議員提出議案1件が追加上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

請願・陳情

12月定例会では、新たに受理した陳情4件と継続審査としていた陳情2件を審査しました。その結果、1件を一部採択、1件を不採択、3件を閉会中の継続審査としました。

新たに受理したもの

陳情 4件

●大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

〔提出者〕 宇都宮市宝木町2-2554-14

栃木県医療労働組合連合会

執行委員長 本間 栄子

〔趣旨〕 看護師等の大幅増員を実現し、安全でいきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るための対策を講じてほしい。

▽審査結果 継続審査

●住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充について国への意見書提出を求める陳情書

〔提出者〕 宇都宮市明保野町1-4

栃木県国家公務員等労働組合協議会

議長 飯村 昌司

12月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆第6次小山市総合計画基本構想

平成27年度を目標に、ふるさと小山の持続的な発展と総合力の向上を目指し、小山市の将来あるべき姿を描くとともに、目標と達成のための方策や手段を整理し、「豊かで活力があり、暮らしやすい小山」を実現するための指針となるもの。

◆平成22年度小山市一般会計補正予算(補正第3号)

歳入 歳出それぞれ12億6603万8000円の増額補正。主な歳入内訳は、小山駅中央自由

通路整備事業7億3600万円、民間保育所入所委託料1億9496万7000円、障がい者介護給付費1億9375万3000円など。これにより補正後予算総額は559億9510万7000円。

◆絹ふれあいの郷の設置及び管理に関する条例の制定

絹ふれあいの郷を公の施設として設置するため、設置および管理事項等を定める条例を制定するもの。

内容 名称および位置、使用の許可、使用料、損害賠償等について規定。

施行日 平成23年4月1日

改正 小山運動公園陸上競技場兼サッカー場の改築等に伴い、使用料の改定を行うため、所要の改正を行うもの。

改正点 陸上競技場の施設使用料を増額改定するとともに、夜間照明設備使用料を追加新設し、実情に合わせた時間帯設定に変更する。

施行日 平成23年4月1日

◆建設工事請負契約の締結

小山市立大谷東小学校南棟改築工事請負契約を締結するもの。

工期 平成24年2月28日限り

工事内容 ①校舎―鉄筋コンクリート造3階建て 建築面積1225・04㎡ 延べ面積3315・86㎡

②契約の方法―一般競争入札 ③契約の金額―5億7225万円



絹ふれあいの郷

契約の相手方―保坂・鯉沼特定建設工事共同企業体

◆絹ふれあいの郷の指定管理者の指定 ①指定管理者となる団体―絹ふれあいの郷交流推進組合 ②指定の期間―平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間

〔趣旨〕 セーフティネットを再構築するため、公務職場に必要な人員を確保すること等。

▽審査結果 継続審査

●2011年度の年金確保及び生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情

〔提出者〕 宇都宮市宝木町2-988-1

全日本年金者組合栃木県本部

執行委員長 松山 正

〔趣旨〕 生活圧迫を進める年金額改定を回避し、高齢者の生活を維持改善してほしい。

▽審査結果 一部採択

●「公契約で働く人のディーセント・ワークを実現し、経済成長につなげる公契約基本法の制定を求める意見書」の提出を求める陳情書

〔提出者〕 小山市三峯2-1-14

連合栃木下都賀地域協議会

議長 坂本 信博

〔趣旨〕 公正労働基準と労働関係法の遵守、社会保険の全面適用等を公契約の基準とすることなどを内容とする公契約基本法をすみやかに制定してほしい。

▽審査結果 継続審査

継続審査に付されていたもの

陳情 2件

●エネルギー回収推進施設に関する陳情書

▽審査結果 継続審査

●「保険でより良い歯科医療の実現を求める」意見書採択の陳情

▽審査結果 不採択

意見書

定例会最終日、民生消防常任委員会から意見書案が1件提出されました。

審議の結果、原案どおり可決し、内閣総理大臣ほか衆参両院議長、関係大臣あて送付しました。

◆2011年度の年金確保及び生活支援金の支給を求める意見書

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

小山市大字間中236番地

福田 泰政(新任)

昭和24年10月30日生

議員報酬等を減額

議会改革推進協議会答申

昨年5月、石渡議長から諮問された事項について、議長を除く全議員で組織する議会改革推進協議会においてこれまで検討を重ねてきました。

その結果、議員定数の削減については現行定数の30人を維持することとしましたが、財政負担の軽減を図るとして、来年度4月から2年間、議員報酬を5%削減、政務調査費の交付額を80万円から50万円に減額することと決定し、石渡議長に答申しました。

この答申に基づき、12月定例会最終日、「小山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び小山市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案」が議員提出議案として上程され、原案どおり可決されました。

なお、議員定数のあり方については現在検討している議会基本条例制定後、様々な角度から検証、検討をしていくことになりました。

常任委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各常任委員会での慎重な審査を経ていきます。12月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼第6次小山市総合計画基本構想について

問 本場結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをどのように考えているか。

答 大変喜ばしいことであり、産地の活性化につなげたいと考えています。また、新年度予算では後継者育成などを支援していきたいと思えます。

▼国土利用計画小山市計画の改定について

問 今後市街化区域に編入する予定の思川西部地区とはどこか。

答 小山駅から西に約2kmに位置する立木・大行寺地区の市街化区域に隣接した場所です。

▼平成22年度小山市一般会計補正予算について(所管関係部分)

問 クレジット収納に係る手数料は。

答 手数料は、1件1000円の定額制と収納額の1%を支払う定率制があり、税目ごとに選択することができます。

民生消防



▼平成22年度小山市一般会計補正予算について(所管関係部分)

問 家庭ごみ収集運搬業務の状況および今後の予定等は。

答 現在、市内を3ブロックに分け、3社が業務を行っています。今回の債務負担行為補正に伴う入札は、本年2月に予定しており、5社が入札に参加する予定です。どの業者を指名するか、また現行の3ブロックをどうするかについては、今後検討します。

問 三人乗り自転車貸出事業における利用料金は。

答 ギア付自転車は月額500円、電動アシスト付自転車は月額800円にしたいと考えています。

▼小山市学童保育館条例の一部改正について

問 児童数の多い城南や大谷北部地区よりも、指定管理者のNPO法人がある間々田地区に学童保育館が多い理由は？
答 定員の40名を超えると学童保育館を分けるという考え方によるものであり、今後、各地域の傾向等について確認および把握するようにします。



教育経済

▼平成22年度小山市一般会計補正予算について

問 絹ふれあいの郷における新規出荷者募集をどのように行っているか？
答 現在組合員は47名ですが、組合員を増やすため出荷者募集の張り紙を店の中に掲示しています。また、以前は組合の規約において組合員の対象を「絹地区の農家」としていましたが、現在は「小山市の農家」と変更しており、市内の方であればどの地区の農家

の方でも組合員になれるようになっていきます。

▼小山市勤労青少年ホームおよび小山勤労者体育センターの指定管理者の指定について
問 勤労青少年ホームにおける各種講座のPR方法は？
答 講座の情報を、広報小山や勤労青少年ホームのホームページへ掲載していますが、現在の利用者に友人を連れてきてもらう方法など、今後指定管理者とも相談しながら、利用者の増加策を検討してい

市政を問う

12月定例会市政一般質問

12月6日から8日にかけて、16人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

新小山市民病院の進捗と経営形態は

松島 不三

問 新小山市民病院の進捗状況と、新小山市民病院を地方独立行政法人にする考え方について伺いたい。

市長 4月に新小山市民病院建設懇話会を設置し、現在まで7回の会議を開催しました。今回の懇話会では、基本構想

の取りまとめを行い、平成23年からは、この基本構想をもとに基本計画の議論をしていきます。そして23年12月には基本計画を策定する予定です。

病院長 新小山市民病院建設懇話会の中で、現経営形態である一部適用病院を始め、全

建設水道



▼平成22年度小山市一般会計補正予算について（所管関係部分）

問 小山駅中央自由通路整備事業の前倒しされる事業内容は？
答 平成22年度が現場事務所や水道、電源の仮設、工事用進入路の整備、杭基礎工事の準備などです。平成23年度が

杭基礎工事や地中梁、鉄骨の加工製作などを予定しています。

問 小山駅南口改札が閉鎖されることを駅利用者や近隣住民に周知しているのか？
答 地元自治会長や商工業団体の代表者などで構成する「小山駅自由通路整備促進協議会」などの場では説明していますが、今後、駅利用者や近隣住民に対しても、説明や周知を行います。

経済対策を第一とし、安全安心な市民生活の向上・安定化対策に取り組みます。また、積極的にエコシティー小山市を推進するとともに、財政健全化のため、経常経費の削減による歳出構造の改革を進めていきます。

平成23年度予算

問 平成23年度予算編成について、現況の厳しい経済状況を重視して予算編成に取り組むべきと思うが。

企画財政部長 平成23年度予算編成に当たっては、景気・地域経済活性化や雇用対策等

市長の政治姿勢

問 大久保市長の政治姿勢に



小山市民病院

Web図書館の導入を

山口 忠保

問 電子書籍の普及に伴い、
収納スペースがいらす蔵書を
増やすことができ、費用も安
価なWeb図書館の導入を。
教育部長 千代田区立千代田
図書館では、平成20年4月に
Web図書館を開館しており、
同図書館の21年度図書館評価
報告書の中で、新たな利用者
が増加していると報告されて
います。国においては、電子

出版情勢が著しく進展する中、
web図書館の推進が検討さ
れており、今後国の動向や技
術革新の情勢を十分に研究し
ていきます。

企業の情報発信

問 大学生の就職内定率は最
悪。ミスマッチ防止と就活支
援のため、市内中小企業の情
報発信と就活手当の創設を。

高齢者等へ灯油の一部助成を

石川 正雄

問 高齢者および低所得者に
灯油の一部助成ができないか。
保健福祉部長 平成19年度に
原油価格が高騰し、灯油が通
常価格の1・28倍に跳ね上が
ったことから、市では緊急対
策として低所得者層や障がい
者世帯等を対象として、灯油

介護保険料滞納

購入費の補助をした経緯があ
ります。しかし、当時と比較
し、灯油価格は安定しており、
緊急性はないと考えています
ので、今後の経済状況を注目
し把握に努めていきます。

問 介護保険料滞納に対する
ペナルティについて。
保健福祉部長 介護保険は、
介護の課題を社会全体で支え
ていく制度であり、40歳以上
の国民は、費用を公平に負担
する義務を負っています。そ
のため、支払能力があるのに
介護保険料を納期限から2年
以上滞納している方に対して
は、要介護状態になっても、

市政一口メモ

※Web図書館(電子図書館)——インタ
ーネット上にある電子化テキストを集積
したサイトを指す新しい図書館のこと。
利用者は図書館に行く必要がなく、24時
間いつでも情報を得ることができ、多数
の利用者が同時に同じ資料を見ることも

できるといった利点がある。維持コスト
は従来の図書館よりも低いが、印刷物の
デジタル形式への変換作業や、オンライ
ンアクセスの維持コストなどの費用が見
込まれる。

ます。

生物多様性小山戦略

問 生物多様性小山戦略の策
定およびKDDIの森の保全
と有効活用のため、市民公募
債の発行等、公有化の推進を。
市長 平成22年9月に県が策
定した生物多様性栃木戦略と
の整合性を図りつつ、23年度
に小山市の生物多様性地域戦
略を策定していきます。

企画財政部長 市民公募債に
ついては、一般の地方債と比
その未納期間に応じて、保険
給付を制限することがありま
す。保険者である市としまし
ては、きめ細やかな納付の相
談を実施することにより、保
険料未納の方がペナルティを
受けずに済むようにしたいと
考えています。

給食民間委託

問 学校給食の民間委託の問
題点について。
教育部長 市では、学校給食
調理業務を平成25年度までに
は、全て民間に委託する予定
です。業者の選定に当たって
は、研修等を十分に実施して
いる業者を指名するよう努め
ます。また、食の安全等に関

較したメリット・デメリット
の検討が必要であり、今後研
究していきます。



中央図書館

しては、現在全ての共同調理
場に栄養士を配置しており、
食材も全て地元の業者から購
入するなど、充分に考慮して
います。



市内の灯油販売所

議会だより 表紙写真募集

- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせた小山市内の季節感のあるものを募集しています。
- あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
問い合わせは・・・議会事務局（☎22-9463）までお気軽に！

公文書や古文書の仕分け状況は

岩崎 昇

問 公文書や古文書の仕分け状況と文書館の教育活動は。

総務部長 公文書につきましては、合併前の文書7035件を検索システムに登録し、未整理の文書は約80箱という状況です。また、合併後の文書約2000箱のうち、36

5箱は選別を完了し、システム登録の入力作業も進めている状況です。一方、寄贈等された古文書は、約8万3000件あり、そのうち2万5290件は検索システムに登録済みで、残りの文書も入力作業を進めているところです。

小中学校普通教室にエアコンを

荒川 美代子

問 猛暑対策として、子どもたちが長時間活動する小中学校の普通教室にエアコンを設置しては。

市長 市では県内他市に先がけ普通教室に扇風機を設置しました。特別教室にはエアコンが設置してあるため、これらの教室の有効活用等、指導を行っています。来年以降今年のような異常気象が生じな

れば、暑い期間は夏休みに当たるため、扇風機で対応可能と考えています。しかし、家庭でのエアコンの普及率が高くなってきたという状況の中、設置に向けても検討していきます。

認定調査員の増員

問 介護申請者の増加に伴い認定までに時間がかかっています。

教育活動としましては、毎年企画展や講演会を開催していますが、講座等の開催も必要と考えています。

市道の進捗状況

問 市道240号線、256号線および239号線以北の横倉農道整備の進捗状況は。

総務部長 市道240号線は、現在用地測量等を実施して

る。認定調査員の増員を。保健福祉部長 認定審査は、65名の審査員がほぼ毎日審査を実施していますが、結果の通知発送まで1カ月半から2カ月を要しています。市としては、期限内に通知できるよう認定調査員の増員のほか、指定居宅介護支援事業所へ委託するため認定調査員研修を県に依頼し、実施しています。

子ども虐待防止

問 虐待防止のために「小山

り、年度内に事業説明会を行う予定です。市道256号線は、小山用土地利用改良区との協議が整いましたので、説明会を実施し、来年度から用地測量等を実施する予定です。239号線以北の横倉農道は、最終計画案がまとまりましたので、平成23年1月に地元説明会を開催する予定です。

生き物共生米作り

問 生き物と共生の米作りにおける市の考えは。

市長 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムにおける活動や渡良瀬遊水地のラムサール条約登録に向けた活動の中で、「ふゆみずたんぼ」

子ども虐待防止条例」を制定しては。また、市主催の会合前に「子ども虐待防止宣言」を唱和しては。保健福祉部長 今年、市民の皆様と児童虐待防止に取り組むことを宣言しました。児童虐待防止法や児童福祉法にも通告義務があり、児童の安全確認や一時保護等の措置を講じており、今後も早期発見、早期対応に心がけ、安全、安心なまちの実現に向け条例の制定を検討します。また、福

や低農薬、減化学肥料の取り組みを検討しており、環境に優しい農業の推進事業を進めていく考えです。また、水路から田んぼに魚類を呼び戻すための魚道設置を今後も実施するなど、生き物と共生の米作りを進める考えです。



小山市文書館



小学校図書室のエアコン

社関係者の会合等で宣言文を読み上げるなど、児童虐待防止の意識の継続を図ります。

男女共同参画センターの機能改善は

安藤 良子

問 男女共同参画センターは開館8年経ってもバリアフリー、防犯対策が不十分である。機能改善策を今後どうするか。

副市長 小山市では、平成23年度が男女共同参画都市宣言10周年になることを機に、センターの改修整備を図ります。内容は、一階車庫部分を事務室として改修し、二階の第3研修室、ミーティングルーム

を相談室に改修するとともに玄關部にスロープ設置やトイレ改修等を行います。また、改修後は男女共同参画課を移し学習研修の機会の場等を提供するとともに、法律相談、カウンセリング等にも対応し、DV被害者相談支援機能の強化も行っています。

保育所入所選考

問 保育所(園)入所選考では突然の失業や入院、離別など緊急時の対応はあるか。パート、求職中の対応はどうか。

保健福祉部長 小山市では厚生労働省の通知に基づく選考基準を作成し、運用しています。市では、選考基準を基礎としながら保育所(園)と保護者と細やかな情報交換を行いながら、保護者の立場に立った入所措置をしており、また、こども課の窓口で個別に相談に応じている状況です。

ワクチン補助

問 小児用ヒブ・肺炎球菌ワクチンの一部補助、子宮頸がんワクチンの全額補助をしているが、老人に対する肺炎球菌ワクチンの補助はできるか。

保健福祉部長 細菌性髄膜炎を予防し、約80%の効果があるといわれている肺炎球菌ワクチンについては、来年度の助成開始に向けて、医師会、関係機関等と前向きに検討していきます。さらに、年齢や

学校での道德教育の徹底を

白石 資隆

問 義務教育は、社会で生きていく上での義務を身に付けさせるのが役目。道德教育を徹底してほしい。

教育長 心の教育の充実として道德教育と児童生徒指導を教育の基礎と位置づけ、知、徳、体のバランスを重視した教育を推進しています。児童

生徒の実態を把握し、生活習慣の定着やルールを守ることの重要性について様々な方法で指導を行ってきましたが、頭では理解しても正しく行動することは難しいのが現状です。今後も根気強く指導を続けていきます。

長期財政

問 目先の財政は黒字だが、貯金である基金は少なく、借金総額に対する返済額も少ない。目標を高く持つべきではない。目標を高く持つべきではない。今年度スタートした第5次行政改革に基づく経費全般にわたる節減合理化による経費の削減と市債残高の着実な削減を目指した市債管理計画に沿って、新規市債発行額

高齢者の見守り

問 独居老人、高齢者世帯が急激に増え、さらなる見守りが必要。関係機関と市民の連携はどの程度進んでいるか。

保健福祉部長 昨年度から高齢者見守り訪問事業を、桑地区をモデル地区として地域と協働で取り組み、本年度は大谷、美田地区で事業を推進するため状況を把握しています。

助成額等についても、今後検討していきます。



男女共同参画センター

今後75歳以上および一人暮らし高齢者の正確な把握と台帳整備を図ります。また、新聞販売連合会小山支部、東電栃木南支社と業務を通して支援助いたたく協定書を締結しました。

市政一口メモ

※肺炎球菌——肺炎を起こす細菌のこと
で、顕微鏡で見ると丸い形をしている。菌の回りには強力な膜があり、白血球の免疫機能に抵抗を示す。主にごや気道の粘膜に付着して感染を起こし、血流に

入って、脳や関節、骨髄など体の様々な臓器に侵入し、臓器を破壊してしまうこともある。免疫のはたらきが十分でない乳幼児や高齢者にはワクチンにより、病気をあらかじめ予防する必要がある。



小学校での道德の授業



結城紬のはた織りのようす

個人質問から (質問順)

行政クレーマー

角田良博

問 行政クレーマーに対する全庁的な取り組みの進捗状況は。

総務部長 関係部長を招集して検討会議を開催し、組織的対応の行動指針となるマニュアルの策定や、今後の統一行動などを議論したところですが、統一的な行動をとることは難しいとの意見も出されています。このことから、追求されている事案については各部署において、検証を行った上で対応策を提示できるようにしなければならぬ状況であり、職員の態度や対応の苦情については、改善に向け

た努力をすることを伝えて、執拗に来庁することをやめていただくよう説得していく以外にないのが現状です。

本場結城紬

生井貞夫

問 本場結城紬がユネスコの無形文化遺産に登録されたが、厳しい状況にある組合員や紬の振興策を最大限に考えるべきでは。

市長 本場奄美大島紬の産地である鹿児島県奄美市において実施されている各振興策などを参考に、本場結城紬の産地に対する新たな支援策を研究中であり、地元本場結城紬振興協議会、県とも連携を図りながら、平成23年度の予算に計上していきたいと考えています。

歴史交流館

鈴木清三

問 歴史交流館は、すばらしい歴史と文化を発信するのに最適と思うが。

市長 小山市歴史交流館整備事業は、歴史のまちづくり推進の拠点施設として、観光客の回遊性を高め、小山駅周辺、中心市街地の活性化を推進し、商業、観光の振興を図ること

を事業方針として積極的に推進しています。取り組みとしては、小山市歴史交流館検討懇話会を設置し、祇園城跡整備委員会において提言いただいたガイドランス整備基本計画を継承し、施設の基本計画策定を進めています。

女性への暴力

青木美智子

問 今、男女平等推進の主要な課題は、女性への暴力である。配偶者暴力支援センターの整備状況とデートDV防止の取り組みは。

総務部長 配偶者暴力相談支援センターの整備についてはDV防止基本計画において平成26年度までに段階的に行うとしたところです。また、デートDV防止については、高校、大学生などの若い世代への教育、啓発が必要であることから、教育現場への啓発に取り組むことを掲げ、教職員向けの研修、パンフレットの作成、配付、出前講座なども進めていきたいと考えています。

事業仕分け

山野井孝

問 本年度に実施を見送った

事業仕分けについて、議会と調整し、来年度は実施すべきと思うが、考えを伺いたい。

企画財政部長 第三者による事務事業評価の結果を当初予算に反映させるべく整理するとともに、昨年度に引き続き各部幹事課長による事業仕分けプロジェクトでの検討と職員によるわたしの担当業務経費削減提案を実施し、集約中です。第三者による事務事業評価の結果を踏まえて、今後議会とも十分に調整を図りながら検討していきたいと考えています。

フードバレーとちぎ

浅野和朋

問 県でスタートした「フードバレーとちぎ」構想について、小山市の評価と、その対応方法について伺いたい。

市長 県内の食品関連団体が活発に交流し、連携することで新たな商品開発や農産物の高付加価値化と販路開拓を進め、農業を始めとする幅広い分野の振興が図れるものと思います。また、市としては農業団体や農業者と食に関連する事業者との交流や情報の共有化を図り、農商工連携を促進するための施策を推進し、

小山産の食材を使った商品を開発していきます。

市民病院移転

大出ハマ

問 市民病院の移転について、思川西部地区、国道50号沿いの誘致について、どう考えているか。

病院長 思川西部地区の国道50号沿いを含め、7箇所の移転候補地について新小山市民病院建設懇話会や市民病院整備対策特別委員会に提示し、委員の方々に現地視察をしていただきました。その後実施した委員の評価を踏まえ、懇話会において移転場所の決定をいただき、今後基本構想の中を示していきます。

市民病院進上路

大橋一巳

問 市民病院について、25年前に進上路の拡張計画がされたが、どのような計画で、なぜ頓挫したのか。

建設水道部長 病院の進上路である市道1145号線は、昭和61年に幅員16mの都市計画道路として決定することを検討しましたが、市民病院単独施設への進上路であることから、都市計画決定になじま



大谷東小学校のプレハブ校舎

ないという経過で決定されませんでした。その後、一般道路事業として拡幅整備の検討を行いました。拡幅に伴う費用が15億円見込まれることから、当時の財政を考慮して事業化は困難な状況でした。

大谷東小プレハブ
中屋 大

問 大谷東小学校の児童は現在仮設プレハブで勉強している。断熱性が低いので普通教室にエアコンを設置できないか。

教育部長 この仮校舎は1年限りの使用であるので、普通教室については長期予報など今後の気象状況を見極めながら、扇風機の増設や断熱の向上措置などを検討していきます。

議会日誌

- ▽25日 (10月) 議会改革推進協議会 専門部会／議会改革推進協議会
- ▽1日 (11月) 民生消防常任委員会 協議会
- ▽4日 小山駅周辺都市整備対策特別委員会
- ▽11日 議会運営委員会／会派代表者と市執行部との定例懇談会／議会改革推進協議会
- ▽17日 議員全員協議会／議会広報委員会
- ▽22日 議会改革推進協議会
- ▽24日 議会運営委員会／会派代表者会議
- ▽29日 (12月) 議会改革推進協議会
- ▽6日 議会改革推進協議会
- ▽7日 議会広報委員会
- ▽13日 民生消防常任委員会
- ▽14日 教育経済常任委員会
- ▽15日 建設水道常任委員会
- ▽16日 総務常任委員会／小山市民病院整備対策特別委員会
- ▽20日 議会改革推進協議会

- ▽24日 議会運営委員会／議員全員協議会
- ▽17日 (1月) 会派代表者会議／議員全員協議会／議会基本条例策定作業部会
- ▽24日 議会基本条例策定作業部会
- ▽25日 政治倫理審査会
- ▽26日 小山駅周辺都市整備対策特別委員会

視察来訪

- ▽15日 (10月) 大分市(大分県)1人
|| 小山市墓園について
- ▽18日 杉戸町(埼玉県)7人
|| 地産地消の取り組みについて

議場見学

- ▽25日 (11月) 問々田小学校・99人

政治倫理審査会 報告

1月25日、小山市議会議員の政治倫理に関する条例に基づき、審査委員8人の出席の下、審査会を開催しました。

本審査会は、大橋一巳議員が昨年の9月22日に市内の飲食店において男性の顔面を殴り、同人を椅子もろとも転倒させるなどの暴行を加え、傷害を負わせた事件により小山區検察庁に起訴され、1月5日、小山簡易裁判所から略式命令として罰金20万円を受けたことが、小山市議会議員の政治倫理に関する条例に抵触するとして、議員5人の請求

に基づき開催したものであり、その事実関係および事件の調査、審査を行いました。

審査会では、本人の出席および起訴状、略式命令書の提出を求め事情聴取し、その結果、事件の内容について把握でき、起訴状にある公訴事実および罪名(傷害)に相違ないことを本人も認めました。

当審査会は、調査および審査の結果、同条例第3条第7号(市民全体の代表者として、その品位と名誉を害し、市民の信頼を著しく損なう行為)に該当すると判断し、その旨を議長あて報告しました。

次回定例会の予定

2月22日(火)	本会議 (開会・議案上程)
2月24日(木)	本会議 (一般質問)
2月25日(金)	本会議 (一般質問)
2月28日(月)	本会議 (一般質問)
3月1日(火)	本会議 (一般質問・付託)
3月3日(木)	常任委員会
3月4日(金)	常任委員会
3月7日(月)	常任委員会
3月8日(火)	常任委員会
3月9日(水)	予算審査特別委員会
3月17日(木)	本会議 (採決・閉会)

※本会議および常任委員会の開会時刻は午前10時からとなっておりますが、変更になる場合があります。
また、正式な日程は後日開催される議会運営委員会において決定しますのでご了承ください。

常任委員会 行政視察

総務

10月13日(水)
～15日(金)

- 香川県高松市=自治基本条例
- 香川県高松市=香川県立文書館
- 香川県坂出市=包括外部監査

◆自治基本条例について

高松市の自治基本条例は、平成21年12月定例会において全会一致で可決され、市制施行120周年の記念日である平成22年2月15日に施行された。同条例の第23条には「地域コミュニティ協議会」を設置できるとしており、地域のまちづくりに限定したものを協議する機関として、現在市内に44の協議会が設立されている。



坂出市を視察する総務常任委員

民生消防

9月29日(水)
～10月1日(金)

- 富山県富山市=チーム富山市推進事業
- 富山県氷見市=金沢医科大学氷見市民病院
- 石川県金沢市=近江町交流プラザ・ちびっこ広場

◆チーム富山市推進事業について

京都議定書により温室効果ガスの削減目標を確実に達成するために、「チーム富山市推進事業」を策定した。この事業は、団体・事業者などが自主的にチームを結成し、具体的な温暖化防止行動とその目標を掲げ、「チーム富山市」のメンバーとなって取り組むことで、市民総参加の行動へと広げるとともに、温室効果ガス削減の成果を上げていくことを目的としている。



富山市を視察する民生消防常任委員

教育経済

10月12日(火)
～14日(木)

- 三重県桑名市=二学期制/スクールランチ
- 愛知県一宮市=農業人材育成事業/むらづくり応援隊
- 岐阜県岐阜市=岐阜市歴史博物館

◆農業人材育成事業について

農業従事者の高齢化、後継者不足といった問題を打開するため、国の緊急雇用事業のうち緊急雇用創出事業基金の地域人材育成事業を活用し、農業に必要な人材の育成を図ることを目的としている。市は受託業者と契約し、受託業者が雇用者5名を募集。研修などのスキルアップを図り、地元の農業法人等において現場研修等を行い人材の育成を行っている。



一宮市を視察する教育経済常任委員

建設水道

10月13日(水)
～15日(金)

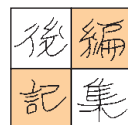
- 広島県福山市=鞆地区道路港湾整備事業
- 福岡県北九州市=西小倉駅前第一地区再開発事業
- 山口県下関市=夜間景観形成基本方針

◆夜間景観形成基本方針について

昼間の景観だけでは気づかなかったまちの魅力を再発見し、新たな魅力を創出させ、下関らしい夜間景観を形成するために、本基本方針が作成された。優れた夜間景観は、市民が快適に生活するための都市環境上の重要な要素の一つであり、市民がまちに愛着を持ち、来街者が再訪したいと思う契機づくりにもなっている。



下関市を視察する建設水道常任委員



▼今年は一地方統一選挙である。

「4年に一度」現役議員が市民に審判の洗礼を受け、選任される選挙だ。

▼市議会議員の投票日は4月24日で、2週間前の4月10日に県議会議員の選挙も行われる。

▼人口減少、少子高齢化社会の進展で、恒常化する扶助費の増大にどう対応していくか。

▼厳しい経済・雇用情勢への対応等、地方自治体の逼迫する財政状況での市政運営をチェックし、担う地方議会の使命・役割は、ますます重くなってきている。

▼選ばれる議員はもろんのこと、投票する市民も小山市の将来を真剣に考え、一番身近で生活に直結する「選挙・一票の行使」の場と自覚され、高投票率による「選択」を期待したい。

(浅野)

小山市ホームページ <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>

◆12月定例会の傍聴人数は、本会議92人（11月29日=1人・12月6日=12人・7日=47人・8日=28人・24日=4人）常任委員会1人（13日民生消防=0人・14日教育経済=1人・15日建設水道=0人・16日総務=0人）でした。